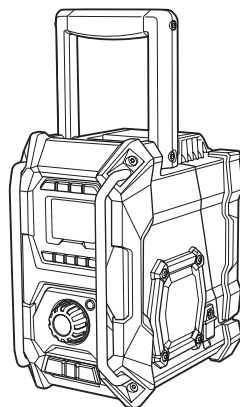




取扱説明書

充電式ラジオ

モデル MR002G



このたびは**充電式ラジオ**をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本製品の性能を十分ご理
解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安
全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全に正しくお使いいただくために	6
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 電源について	14
・ バッテリーについて	14
・ バッテリーを長持ちさせるには	14
・ バッテリーの回収について	14
・ バックアップ用乾電池の取り付け方	15
・ スライド式バッテリーの取り付け・取りはずし方	16
・ バッテリー残容量表示機能	18
・ AC アダプターの使い方	21
・ 携帯機器の充電	22
・ 各操作ボタンについて	23
・ 電源ボタンの入れ方 / 切り方	23
・ 音量の調整	23
・ ラジオ機能	24
・ ラジオ放送を聞く	24
・ 自動選局	24
・ 手動選局	25
・ 放送局を登録して聞く（プリセット選局）	26
・ FM 放送受信時にノイズが聞こえる場合（ステレオ / モノラル切替）	26
・ 時計とアラーム機能	27
・ 時計の設定	27
・ アラームの設定	29
・ ラジオアラームおよびブザーアラームの停止と解除	31
・ スヌーズ機能	31
・ おやすみタイマー機能	32
・ オーディオ設定	33
・ ラウドネス機能	33
・ 外部入力について	34
・ AUX IN 入力端子への接続	34
・ Bluetooth 機能	35
・ Bluetooth 機器とのペアリング	35
・ Bluetooth 機器の接続解除	36
・ Bluetooth 機器の登録情報を削除する	36
・ 保守・点検について	37
・ 本製品のお手入れ	37
・ ご修理の際は	37

主要機能

主要機能		モデル	MR002G
周波数帯域			FM：76 ～ 108 MHz AM：522 ～ 1,710 kHz
アンテナ			FM：アンテナ内蔵ハンドル AM：内蔵フェライトバーアンテナ
スピーカー			左右：89 mm × 2 個
入力端子			AUX IN：ø3.5 mm
実用最大出力			10.8 V：1.2 W × 2 14.4 V：2.2 W × 2 18 V：3.5 W × 2 36 V：5 W × 2
電源			スライド式バッテリー※ 1：DC10.8 V、14.4 V、18 V、 36 V (40 Vmax) バックアップ用乾電池：DC3 V(単 3 乾電池 2 本) 家庭用電源：AC100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプター使用)
USB 電源端子	出力電圧		直流 5.0 V
	出力電流		直流 2.4 A
	形状		USB A タイプ
Bluetooth	適合規格		Bluetooth Ver5.0
	対応プロファイル		A2DP (SCMS-T 対応) /AVRCP
	オーディオ コーデック		SBC
	通信距離		通信保証距離：10 m 通信可能距離：30 m (使用環境によって異なる)
	送信出力		Class2
防じん・防水性能			IP65
本製品寸法			ハンドルを起こしたとき： 長さ 280 mm × 幅 171 mm × 高さ 434 mm ハンドルを倒したとき： 長さ 280 mm × 幅 171 mm × 高さ 298 mm
質量※ 2			4.3 kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1 使用可能なバッテリーについては、4 ページの「一充電当たりの使用時間」を参照してください。

※ 2 バッテリー非装着時、バックアップ用乾電池 単 3 × 2 本装着時

主要機能

一充電当たりの使用時間※ 1

バッテリーの種類・電圧				使用時間※ 2	
				ラジオまたは AUX（外部 入力）	Bluetooth
10.8 V	14.4 V	18 V	36 V (40 Vmax)	MR002G	MR002G
BL1015				7.5 h	7.0 h
	BL1415N			6.5 h	6.0 h
		BL1815N		6.5 h	6.0 h
		BL1820B		9.0 h	9.0 h
			BL4025	17.0 h	16.0 h
	BL1430			10.5 h	10.0 h
	BL1430B			10.5 h	10.0 h
		BL1830		12.5 h	12.0 h
		BL1830B		12.5 h	12.0 h
BL1040B				19.5 h	18.5 h
	BL1440			17.0 h	16.0 h
		BL1840		17.5 h	17.0 h
			BL4040	27.5 h	26.0 h
	BL1450			20.5 h	19.5 h
		BL1850		23.0 h	22.0 h
		BL1850B		23.0 h	22.0 h
	BL1460B			22.0 h	21.0 h
		BL1860B		27.5 h	26.0 h

※ 1 使用時間は参考値です。バッテリーの充電状態や充電する携帯機器により異なります。

※ 2 JEITA基準:電子情報技術産業協会基準(スピーカー出力合計:100 mW 時)

主要機能

電波法に基づく認証について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解／改造すること。
- ・ 本製品に貼ってあるラベルの適合マークおよび認証番号を消すこと。



Bluetooth について

- ・ *Bluetooth* とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- ・ *Bluetooth* は、*Bluetooth SIG* の登録商標でありマキタはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- ・ *Bluetooth* 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。*Bluetooth* 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、ほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- ・ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ 本製品はすべての *Bluetooth* 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

安全に正しくお使いいただくために

JPA033-4

- ・ この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷などを負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。
注	製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意です。

- ・ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

 	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

付属の AC アダプターは日本国内専用です。



- ・ 付属の AC アダプターは、交流 100 V (AC100 V) の家庭用電源コンセントにつないでください。異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

マキタが指定した専用の AC アダプター以外は使用しない。



- ・ 改造した AC アダプターを使用しないでください。本製品の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿ったまたは濡れた場所で使用したり、充電したりしない。



- ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
- ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

内部にもものや水などを入れない。



- ・ 金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐにアンテナが内蔵されているハンドルを倒して収納する。



- ・ 落雷の原因となります。

AC アダプタープラグや電源プラグをぬれた手や油分などで汚れた手で抜き差ししない。



- ・ 感電の原因となります。

電源プラグがコンセントに差し込まれたまま、AC アダプタープラグを本製品から取りはずして放置しない。



- ・ 通電したままの AC アダプタープラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

電源プラグ、コードや AC アダプタープラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、ショート、発火の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いをするなどの異常な状態に気がついたときは…



- ・ 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーをはずし、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。



- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。



- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。



- ・ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。



- ・ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。



- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。



- ・ 液晶画面が破損した場合、液晶（液体）が漏れ出す可能性があります。液晶を吸い込んだり、口に入れたりしないでください。中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったたり、目に入ってしまった場合は、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

マキタが指定した専用バッテリー以外を使わない。



- ・ 改造したバッテリー(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む)を使用しないでください。工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。



- ・ バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

バッテリーは、火への投入、加熱をしない。



- ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。



- ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

バッテリーは専用充電器以外では充電しない。



- ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、火災の恐れがあります。

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させない。（USB 電源端子装備モデルのみ）



- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると短絡（ショート）し、発火、発煙の恐れがあります。

ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。



- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。

子供に使用させないでください。使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管する。



- ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
- ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- ・ バッテリーはバッテリー収納カバーをつけて保管してください。（バッテリー収納カバー付きの場合）

子供に充電式製品、充電器およびバッテリーで遊ばせない。



- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

本製品を持ち運ぶときは、落とさないようにハンドルを握るなど、しっかり保持する。



- ・ 破損や故障の原因となります。

電源プラグがコンセントに差し込まれたまま、AC アダプタープラグを抜かない。



- ・ 感電の恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意

不安定な場所に置かない。



- ・ 落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気があたるような場所に置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹き付ける所や、極端に寒い場所に置かない。



- ・ 露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内など、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使い方をしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液漏れをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。



- ・ 新しい乾電池と1度でも使用した乾電池を一緒に使用しない。
- ・ 金属小物（かぎ、コイン、装飾品ネックレスなど）と一緒にポケットやかばんなどに入れない。
- ・ 加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない。
- ・ 分解しない。
- ・ ハンダ付けしない。
- ・ 端子をショート（短絡）させない。
- ・ 種類のちがう乾電池を一緒に使用しない。
- ・ しばらく使わないときは、取り出しておく。
- ・ 乾電池のプラスとマイナスの向きを、表示どおり正しく入れてください。
- ・ もし、液がもれた場合は、乾電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・ 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 本製品は乾いた布で拭いてください。ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 付属品はマキタ純正品を使用してください。故障の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意



- ・ 雷が鳴ったり、長期間使用しない場合には、電源から電源プラグを抜いてください。感電や火災の原因になります。



- ・ バッテリーを、周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発火、発煙の恐れがあります。



- ・ バッテリーを着脱するときは、バッテリーを落下させないように注意してください。けがの原因になります。



- ・ 落したり、損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



- ・ バッテリーは、電力量が100Whを超える場合、危険物に分類されます。輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。



- ・ 充電式製品を高圧電線の近くで使用しないでください。誤動作や故障する恐れがあります。



- ・ 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

使用環境について

十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。



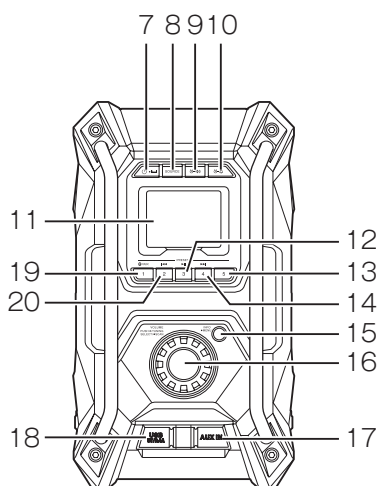
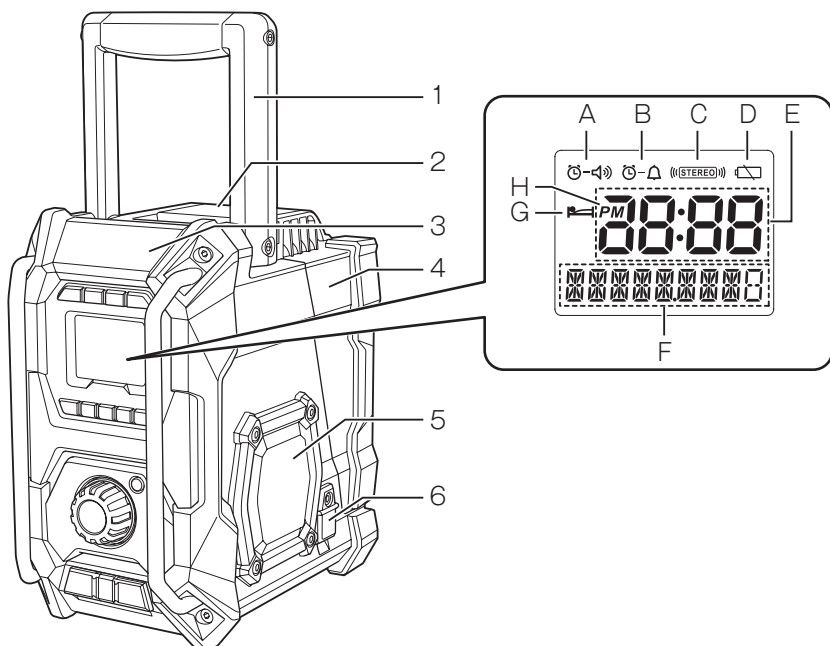
- ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

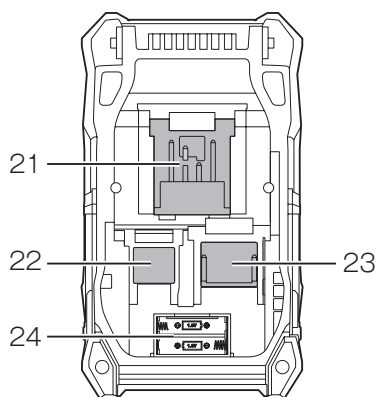


- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

各部の名称および標準付属品



[正面]



[裏面-バッテリー収納カバー開口時]

各部の名称および標準付属品

操作部

1. ハンドル / 内蔵アンテナ (FM 放送受信用)
2. バッテリー収納カバー用ロック
3. 内蔵フェライトバーアンテナ (AM 放送受信用)
4. バッテリー収納カバー
5. スピーカー
6. AC アダプタージャック
7. 電源・おやすみタイマーボタン
8. ソースボタン
9. ラジオアラームボタン
10. ブザーアラームボタン
11. LCD 画面表示
12. プリセット 3 / 再生 / 一時停止ボタン
13. プリセット 5 ボタン
14. プリセット 4 / 早送りボタン
15. メニュー / 情報ボタン
16. 音量・選局ダイヤル
17. AUX IN 入力端子
18. USB 電源端子
19. プリセット 1 / Bluetooth PAIR ボタン
20. プリセット 2 / 巻戻しボタン
21. 36 V (40 Vmax) バッテリー挿入口
22. 10.8 V バッテリー挿入口
23. 14.4 V・18 V バッテリー挿入口
24. バックアップ用乾電池収納部

表示部

- A. ラジオアラーム表示
- B. ブザーアラーム表示
- C. ステレオ表示
- D. バッテリー残容量不足表示
- E. 時刻表示
- F. 周波数表示
- G. おやすみタイマー表示
- H. PM 表示

標準付属品

- ・ AC アダプター (DC12 V 2.5 A)
- ・ バックアップ用乾電池 単 3 × 2 本

電源について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。
ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリー収納カバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

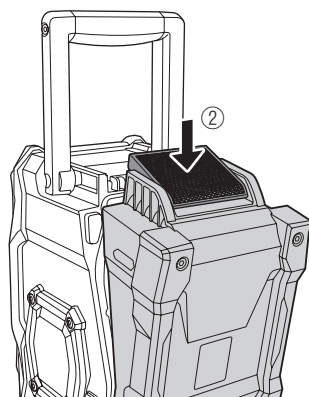
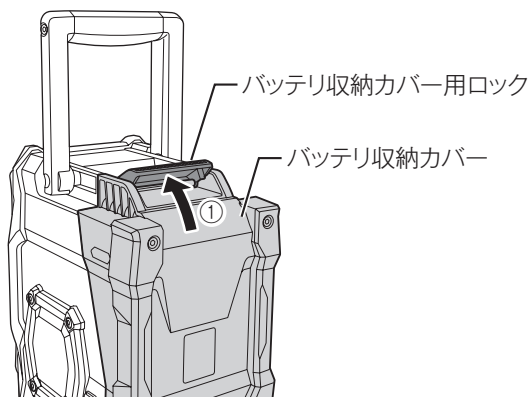
電源について

バックアップ用乾電池の取り付け方

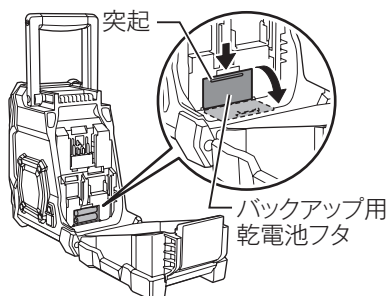
- ・ バッテリーや AC アダプターを抜いたときに、バックアップ用電池を入れておくと、登録や設定した内容を保持することができます。

注

- ・ バッテリー残容量不足表示  が表示され、“EMPTY” の文字が点滅表示し続ける状態になったらバックアップ用の乾電池を交換してください。
 - ・ バッテリー収納カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。
1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。



2. バックアップ用乾電池フタの突起を下に押し込むようにして手前に開きます。
3. 乾電池のプラス・マイナス方向に注意して取り付け、フタを閉じます。



注

- ・ 乾電池のプラス・マイナス方向を間違えると、故障の原因になります。
4. バッテリー収納カバーを閉じてロックします。

電源について

スライド式バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

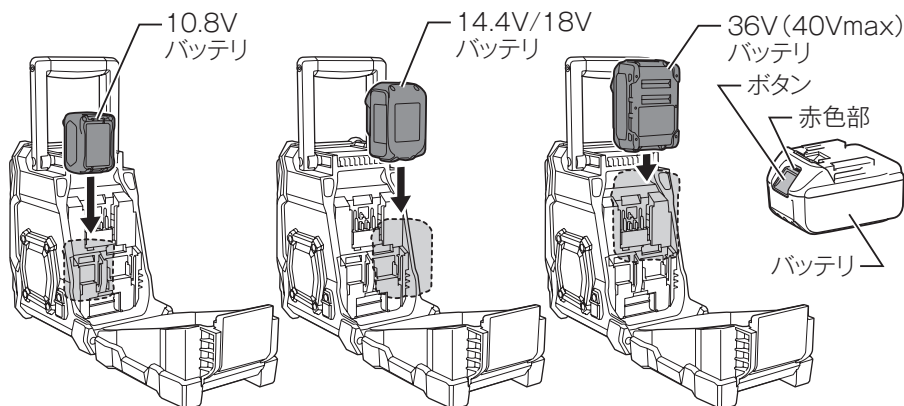
⚠ 注意

本製品を持ち運ぶときは、バッテリー収納カバーを閉じてください。バッテリーが抜けてしまい手や足をけがすることがあります。

注

- ・ バッテリー収納カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。

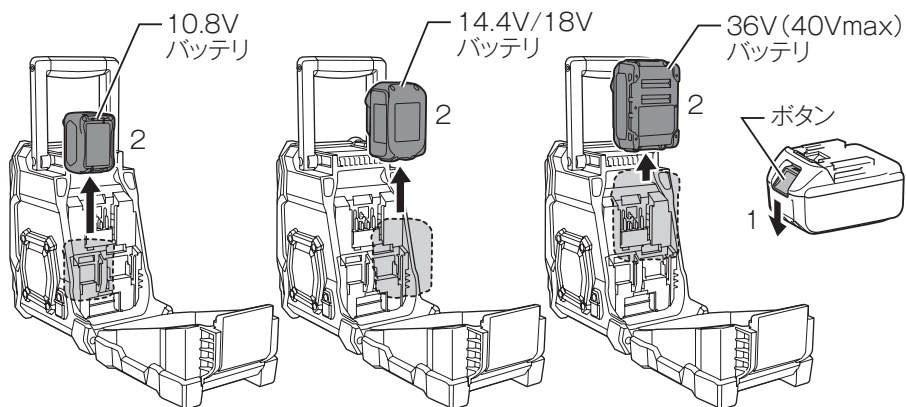
1. バッテリー収納カバーを開きます（15 ページ参照）。
2. バッテリーの種類にあった取り付け部に奥まで挿入してください。
3. バッテリー収納カバーを閉じてロックします。



電源について

バッテリーを本製品から取りはずすときは、

1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
2. スライドさせると取りはずせます。

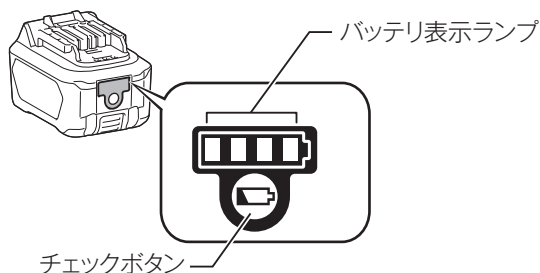


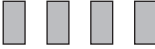
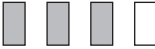
電源について

バッテリー残容量表示機能

- ・ モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。

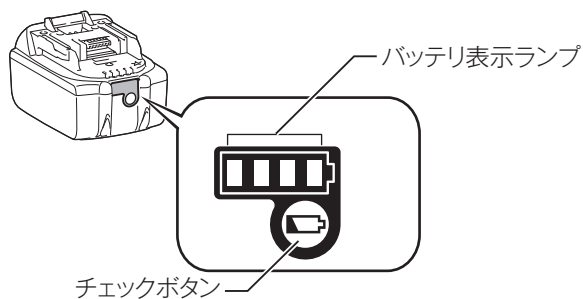
10.8 V バッテリーの場合



バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
 : 点灯	 : 消灯	
		75 % - 100 %
		50 % - 75 %
		25 % - 50 %
		0 % - 25 %

電源について

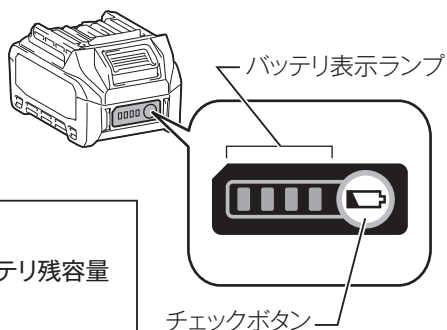
14.4 V / 18 V バッテリーの場合



バッテリー表示ランプ				バッテリー残容量
■:点灯	▨:点滅	□:消灯		
■	■	■	■	75 % - 100 %
■	■	■	□	50 % - 75 %
■	■	□	□	25 % - 50 %
■	□	□	□	0 % - 25 %
▨	□	□	□	充電してください。
■	■	□	□	バッテリーの異常 です。
□	□	■	■	

電源について

36 V (40 Vmax) バッテリーの場合



バッテリー表示ランプ				バッテリー残容量
:点灯	:点滅	:消灯		
				75 % - 100 %
				50 % - 75 %
				25 % - 50 %
				0 % - 25 %
				充電してください。
				バッテリーの異常です。

注

- 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- バッテリーは AC アダプターでは充電できません。
- ラジオの音が大きくなったり小さくなったりしたときやバッテリー残容量不足表示 と“POWERFAIL”が表示されたら充電したバッテリーと交換してください。
- バッテリー保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します (10.8 V バッテリー以外の場合)。

電源について

AC アダプターの使い方

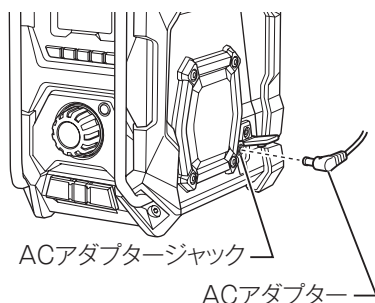
⚠ 警告

- ・ ジャック用プラグやコードを口に入れたり、くわえたりしないでください。
- ・ ジャック用プラグ、電源プラグやコードを傷つけた場合は使用しないでください。
- ・ 本製品を持ち運ぶときは、AC アダプターを取りはずしてください。
- ・ 感電の原因となります。

⚠ 注意

- ・ 使用が終わったら AC アダプターを必ず片づけてください。小さいお子様などがコードで遊ぶと、けがの原因となることがあります。
- ・ AC アダプタープラグや電源プラグを取りはずすときは、コードを持たずに必ずプラグ自体を持って引き抜いてください。故障やけがの原因になります。

1. ゴムカバーをめくり、AC アダプタージャックへ AC アダプタープラグをつなぎます。
2. AC アダプターの電源プラグを電源コンセントにつなぎます。



注

- ・ AM 放送受信時には AC アダプターによって雑音などの影響がでることがあります。本製品を AC アダプターより 30 cm 以上離してください。
- ・ AC アダプターを使用しているときは、バッテリーから給電しません。
- ・ バッテリーは AC アダプターでは充電できません。
- ・ 本製品を使用しないときは AC アダプターの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

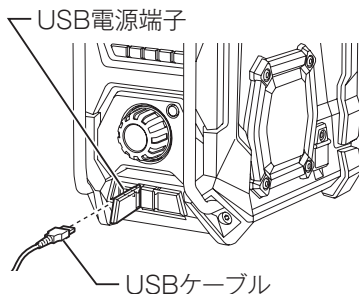
電源について

携帯機器の充電

⚠ 注意

USB 電源端子を短絡（ショート）させないでください。やけどする恐れがあります。

- ・ 本製品には前面に USB 電源端子があり、携帯機器などに充電ができます。
 - ・ バッテリ、AC アダプターのいずれを使用中でも USB 電源端子から充電することができます。
1. 外部機器（例：スマートフォンやポータブルオーディオ機器など）を市販の USB ケーブルで接続します。

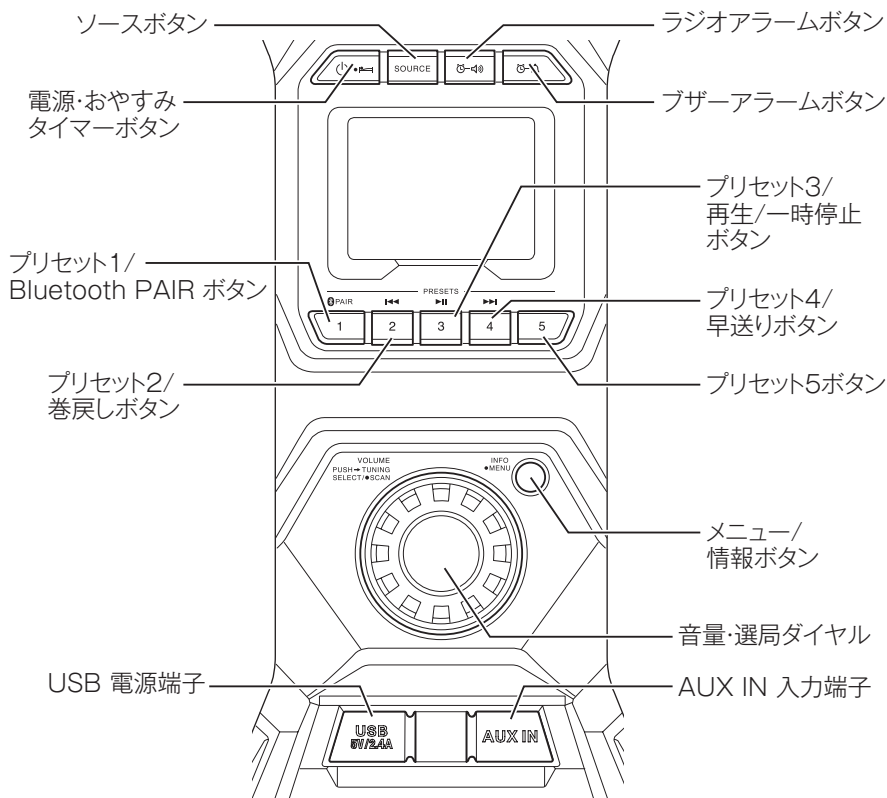


2. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
3. USB 電源端子から携帯機器への充電がはじまります。ただし以下の条件では充電することはできません。
- ・ 本製品の電源が OFF の場合
 - ・ 「AM」 ラジオモードを選択している場合

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる携帯機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した携帯機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ 携帯機器の種類によっては充電できない機種があります。
- ・ パソコンの USB 電源端子と接続しないでください。故障の原因になります。
- ・ 充電中はスピーカーからの音量レベルが低くなります。
- ・ バッテリの消耗を防ぐため、充電完了後は USB 電源端子から USB ケーブルをはずしてください。

各操作ボタンについて



電源ボタンの入れ方 / 切り方

- 電源・おやすみタイマーボタン  を押すと電源が入り、各モードで動作中に押すと電源が切れます。

注

- バッテリーを取り付けた後は、システム障害を防ぐため、3 秒経ってから電源を入れてください。

音量の調整

- 音量調整モード時は音量のレベルが表示されます。音量・選局ダイヤル  を時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

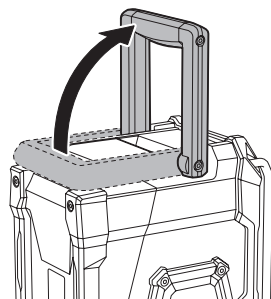
注

- 音量は上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ラジオ機能

● FM 放送を聞く場合

- ・ ハンドルに FM ラジオ受信用アンテナが内蔵されています。受信感度を上げるため、図のようにハンドルを立ててください。



● AM 放送を聞く場合

- ・ 内蔵のフェライトバーアンテナによって受信しますので、ハンドルを立てる必要はありません。

ラジオ放送を聞く

- ・ 自動選局、手動選局、登録（プリセット）選局の 3 通りの選局方法があります。

自動選局

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。本製品の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響を与える機器の近くでは操作しないでください。
2. 音量・選局ダイヤル  を長押しすると、周波数の数字が変わり選局がはじまります。電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。

注

- ・ 放送局を確定したあと  を回すと音量調整モードとなり、音量のレベルが表示されます。
- ・ 音量調整モード時に  を押すと、手動選局モードに切り替わります。

3. 確定後、自動選局を再開する場合は、 を長押しします。

注

- ・ ステレオ放送を受信した場合は、ステレオ表示 (「**STEREO**」) が表示されます (FM 放送のみ)。
- ・ 音量調整の際、FM・AM 表示が点滅していないことを確認してください。FM・AM 表示が点滅している場合は、本製品は手動選局の状態です。

ラジオ機能

手動選局

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。本製品の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響を与える機器の近くでは操作しないでください。
2. 音量・選局ダイヤル  を一度押して選局モード（FM・AM 表示が点滅）にし、希望する放送局を受信するまで回します。  を回すと次の周波数刻みで変化します。

FM : 50 kHz (0.05 MHz)

AM : 9 kHz

注

- ・ 選局モード中は FM または AM 表示が約 10 秒点滅します。その間に何も操作しなければ自動的に選局モードが解除され、音量モードになります。
- ・  は音量調整モード時に押すと選局モードに、選局モード時に押すと音量モードになります。

ラジオ機能

放送局を登録して聞く（プリセット選局）

AM 放送、FM 放送は各々、5 局まで登録できます。

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。
2. 登録したい放送局を受信します（自動選局、手動選局）。
3. 登録したい放送局の周波数が表示されたら、プリセットボタン  (1 ~ 5 のどれか) を長押しし(2 秒以上)、登録します。
ピッと音がして、選んだプリセットボタンが表示されます。
例：FM 放送の 77.80Hz をプリセットボタン 3 に登録した場合
⇒ FM77.80P3
4. ほかの放送局を登録するには操作 2 ~ 3 を繰り返します。

注

- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は上書きされます。

●登録した放送局を呼び出す

1. ソースボタン  を押し、ラジオバンド（FM/AM）を選びます。
2. プリセットボタン  (1 ~ 5) を押すと、登録した放送局の周波数が表示されます。

FM 放送受信時にノイズが聞こえる場合(ステレオ/モノラル切替)

FM 放送を聞く場合、ノイズが聞こえることがあります。この場合、モノラルモード “FM MONO” で放送を聞くことによりノイズを減らすことができます。

1. FM 放送受信時に、メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回すと、“FM AUTO” または “FM MONO” が表示されます。
3. “FM AUTO” 表示のとき、 を押すと “AUTO” が点滅します。
4.  を回して “MONO” 表示にし、 を押してモノラルモードに設定します。

時計とアラーム機能

- ・ 時計とアラーム機能に関する設定は、電源の「入」「切」にかかわらず設定できますが、バックアップ用乾電池が装着されていないと設定できません。

時計の設定

時間表示の設定

- ・ 時間はスタンバイモードや再生モード時に表示画面に表示されます。時間表示は 12 時間と 24 時間の設定ができます。アラーム設定時にもその設定が使用されます。

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“CLOCK ** H” を表示します。
3.  を押して、“** H” が点滅したら、 を回して、12H または 24H を選択します。
4.  を押すと確定します。

時刻の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“CLOCK ADJ” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 時表示が点滅します。
 を回して時（例：00:00 → 12:00）を合わせてから押すと確定します。
4. 次に、分表示が点滅します。
 を回して分（例：12:00 → 12:20）を合わせてから押すと確定します。

日時表示の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、日付（例：MON APR 4）が表示されたら、 を押します。
3.  を回して希望する表示を選択し、 を押して確定します。

時計とアラーム機能

年月日の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“DATE ADJ” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 年表示が点滅します。
 を回して年（例：2000 1- 1 → 2019 1- 1）を合わせてから押すと確定します。
4. 次に、月表示が点滅します。
 を回して月（例：2019 1- 1 → 2019 6- 1）を合わせてから押すと確定します。
5. 次に、日表示が点滅します。
 を回して日（例：2019 6- 1 → 2019 6- 12）を合わせてから押すと確定します。

時計とアラーム機能

アラームの設定

ラジオアラームの設定

- ・ ラジオアラームを設定すると、設定した時刻にラジオ放送を聞くことができます。
- ・ ラジオアラームは電源・おやすみタイマーボタン  を押さなければ、約 1 時間鳴り続けます。

1. ラジオアラームボタン  を長押しするとラジオアラーム表示  と時間表示が点滅します（約 10 秒間）。
2. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
3. 次に分表示が点滅します。同様にして分を確定します。
4. 次にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが 1 回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAY：アラームは平日（月曜日～金曜日）に鳴ります。
WEEKEND：アラームは週末（土曜日・日曜日）に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。
5. FM・AM を選択します。 が点滅している間に  を回し、FM・AM を選択したあと、 を押すと確定します。
次に周波数が表示されますので、 を回してお望みの周波数に合わせ、 を押せば周波数が確定します。このときプリセットボタンでも周波数を合わせることができます。
6. 最後にアラームの音量を設定します。音量は“VOLUME 10”のように表示されますので、 を回しお望みの音量に合わせ、 を押すと確定します。
ラジオアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。

注

- ・ 設定した周波数で受信できない場合、代わりにブザーが鳴ります。
- ・ 放送局を選択しない場合、最後に設定した放送局が設定されます。
- ・ 時刻を設定していない場合、ラジオアラーム時刻の設定はできません。

時計とアラーム機能

ブザーアラームの設定

ブザーアラームが設定されると、設定した時刻にアラームが鳴り始めます。
このアラーム音は次のサイクルで 1 時間繰り返します。

(①→②→③→②→③→・・・→③→②→アラーム音停止)

①：設定時刻にアラームが鳴り始めます。

②：15 秒毎に 15 秒間のアラームが鳴り続けます。

③：約 1 分間停止します。

1. ブザーアラームボタン  を長押しすると、ピッと音がして、ブザーアラーム表示  と時表示が点滅します（約 10 秒間）。
2. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたと、 を押すと時間が確定します。
3. 次に分表示が点滅します。同様にして分を確定します。
4. 最後にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが 1 回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAY：アラームは平日（月曜日～金曜日）に鳴ります。
WEEKEND：アラームは週末（土曜日・日曜日）に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。

注

- ・ブザーアラームを設定した場合、音量の設定はできません。
- ・ブザーアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。
- ・アラームを設定する前に、必ず正しい時刻を設定してください。ラジオアラームおよびブザーアラームは、時刻を設定していない場合使用できません。
- ・アラーム設定中に約 10 秒間ボタンが押されない場合、自動的に設定モードが解除されます。

時計とアラーム機能

ラジオアラームおよびブザーアラームの停止と解除

●アラーム音を停止するには

- ・ 電源・おやすみタイマーボタン  を押します。

●アラーム設定を解除するには

- ・ ラジオアラーム設定を解除したい場合は、ラジオアラームボタン  を長押しします。

画面からラジオアラーム表示  が消えて設定が解除されます。

- ・ ブザーアラームが鳴る前に設定を解除したい場合は、ブザーアラームボタン  を長押しします。

画面からブザーアラーム表示  が消えて設定が解除されます。

スヌーズ機能

- ・ アラーム音が鳴っている間に電源・おやすみタイマーボタン  以外のボタンを押すとアラーム音が消えますが、5 分後、再びアラーム音が鳴ります（スヌーズ機能）。

このとき、“SNOOZE” が表示されます。

1. スヌーズ機能の設定時間を変えるには、メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. “SNOOZE **” の表示がされるまで音量・選局ダイヤル  を回します。
3.  を押し、スヌーズ機能の時間設定モードに入ります。
4. 時間は 5 分間隔で 20 分まで設定できます。  を回すと、SNOOZE 5、10、15、20 と表示されますので、設定する時間表示になったら、  を押して確定します。
5. アラームが中断している間に、  を押して電源が入ると、スヌーズが終了します。

時計とアラーム機能

おやすみタイマー機能

おやすみタイマーを設定すると設定した時間で電源を切ることができます。
おやすみタイマーは、15分、30分、45分、60分、90分、120分の設定ができます。

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を長押しするとおやすみタイマー時間“SLEEP **”が画面に表示されます。
2. さらに  の長押しを続けるとおやすみタイマーの設定時間（分）が60→45→30→15→120→90→60の順番で繰り返し表示されます。
希望するおやすみ時間が表示されたら  を離します。
おやすみタイマー表示  が表示され、最後に設定した放送局が流れます。
3. おやすみタイマーの設定時間になると自動的に電源が切れます。
4. 解除するときは  を押します。おやすみタイマー表示  が消え、本製品の電源が切れます。

オーディオ設定

ラウドネス機能

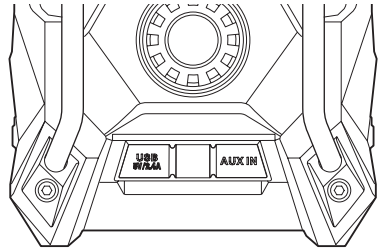
ラウドネス機能を働かせることにより、低音域から高音域まで音が聞きやすくなります。

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回し、“LOUD ON” または “LOUD OFF” 表示させます。
3. “LOUD OFF” ならば、 を押し、“OFF” を点滅させます。
4.  を回し、“LOUD ON” 表示にします。
5.  を押すと、“LOUD ON” 表示が確定し、ラウドネス機能が働きます。

外部入力について

AUX IN 入力端子への接続

- ・ 本製品前面には AUX IN 入力端子があります。お手持ちの携帯機器などを接続することができます。



1. 外部機器（例：スマートフォンやポータブルオーディオ機器など）のオーディオケーブルを AUX IN 入力端子に接続します。
2. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、本製品の電源を入れます。
3. 外部機器の電源を入れます。
4. “AUX IN” が表示されるまでソースボタン  を繰り返し押します。
5. 外部機器および本製品の音量・選局ダイヤル  を回して音量調整をします。音質を高めるため、あらかじめ外部機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。

注

- ・ 外部機器を接続する際は、必ず本製品と外部機器の電源を切ってください。
- ・ オーディオケーブルは同梱付属品として含まれていません。

Bluetooth 機能

- ・ 本製品を Bluetooth 機器と接続して、音楽などをワイヤレスで再生することができます。

Bluetooth 機器とのペアリング

● Bluetooth 機器を登録して再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
“BT WAIT” を表示すると、数秒後に “BT PAIR” と “PAIR” が点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器の取扱説明書に従って、ペアリングができるようにします。
4. Bluetooth 機器のメニューに “MR002G” が表示されたら選択します。
古いタイプの携帯電話の場合 (BT2.1 より古いバージョンの場合)、PIN コード “0000” を入力する必要がある場合があります。
5. Bluetooth 機器と本製品がペアリングされます。
6. ペアリングが完了すると、“BLUETOOTH” が表示されたままになり、その後バックライトが約 10 秒以内に暗くなります。
7. Bluetooth 機器で再生する音楽を本製品のスピーカーで聞くことができます。

●登録済みの Bluetooth 機器を再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
“BT PAIR” が表示され、“PAIR” が点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器のメニューで “MR002G” を選択して接続します。機器によっては自動的に接続されます。
4. Bluetooth 機器で再生する音楽を本製品のスピーカーで聞くことができます。

注

- ・ 本製品は最大 8 台までの Bluetooth 機器を登録できます。最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- ・ 2 つの Bluetooth 機器が本製品を同時にサーチする場合、両方の機器に本製品がペアリング可能であると表示されます。
- ・ 一時的に Bluetooth 機器が本製品と切断されたとき、ペアリングから設定する必要があります。
- ・ もしお手持ちの Bluetooth 機器上に“MR002G”が表示されていないがら接続ができない場合は、お手持ちの Bluetooth 機器のメニューから“MR002G”を削除し、ペアリングから設定してください。
- ・ 本製品とペアリングされた機器の有効距離は約 10 m ですが、見通しが良ければ約 30 m まで通信可能です。
- ・ 本製品と Bluetooth 機器の間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。
- ・ 音質を高めるため、あらかじめ Bluetooth 機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ ペアリングが完了すると、Bluetooth 機器にて再生や停止を含めた選曲操作ができます。また本製品の操作ボタンを使って、選曲操作をすることもできます。

Bluetooth 機器の接続解除

- ・ Bluetooth 機器の接続を解除するには、Bluetooth PAIR ボタン  を 2-3 秒押し続けてください。
“BLUETOOTH” がディスプレイから消えます。また“BT PAIR”が表示され、“PAIR” が点滅することで、Bluetooth がオフになったことを示します。
- ・ ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モード以外のモードへ切り替えることでも接続を解除することができます。

Bluetooth 機器の登録情報を削除する

- ・ 本製品に登録されている Bluetooth 機器の情報を削除するには、Bluetooth PAIR ボタン  を 5 秒以上長押しします。
“CLEARING”が表示され、すべての登録情報がリセットされます。

保守・点検について

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

MR002G-JP-2212
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）